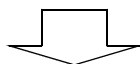


評価領域	学校運営
------	------

重点目標	福祉避難所としての機能及の充実及び児童生徒の防災意識の醸成	P
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に由利本荘市から福祉避難所の指定を受けている。翌年より市と合同で福祉避難所開設訓練を実施しているが、それぞれの役割を確認・遂行するにとどまっている現状があり、連携を図りながら福祉避難所としての機能を高めていく必要がある。 児童生徒の障害等の程度を含め、実態が多様な状況にある。そのため、個に応じた緊急時対応や避難体制を整える必要があるが、児童生徒自身で「自分の命を守る」ことの意識をもち、避難行動を身に付けることでより迅速な有事対応へつながると考える。 	
具体的な目標	<ol style="list-style-type: none"> ①実際の災害を想定した、市との連携による迅速な福祉避難所の開設につながる訓練の実施 ②児童生徒が自身で避難行動をとることができる、年間を通した訓練等の実施 	
目標達成のための方策	<ol style="list-style-type: none"> ①・実際の動きを想定した市との共有マニュアルに基づく、打合せ及びシュミレーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実際の避難者受け入れを想定した訓練の実施 ②・危機管理マニュアルに基づく避難訓練等の繰り返しの実施（避難体制をとるための基礎・基本の動きの徹底） <ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト訓練の計画的な実施 	
取組状況	<ol style="list-style-type: none"> ①・市の福祉避難所担当者と、実際に避難所等として活用する場を確認しながらの打合せ・シミュレーションを行い、連携の具体を検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・本校職員が避難者役を行い、実際に受け入れを行う状況を作りながら訓練を実施した。また、有志の高等部生徒が避難所用テント等設営に参加した。 ②・年間を通して危機管理マニュアルに基づく避難誘導等を全職員で確認し、避難訓練等を計画的に実施した（緊急時対応訓練3回、避難訓練6回〈学校3回・舎3回〉）。 <ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト訓練を毎月実施した。秋にはクマ出没を想定したシェイクアウト訓練も実施した。 	
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> ①・昨年度課題として挙げられた、学校側の避難者受け入れから市側の受け入れ名簿作成につながる連携が、スムーズに行われるようになった。 ②・これまで課題であった、スムーズな避難誘導や避難後の迅速な安否確認ができるようになった。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の大半が、冷静に避難行動をとれるようになった。実際に地震があった際、校内放送よりも先に避難行動をとる場面も見られた。 	

自己評価	(根拠)	C
(評価) A	<ul style="list-style-type: none"> 職員アンケートで、福祉避難所機能充実に係る項目の肯定的評価(十分できている+できている)が99%、同様に避難訓練等関連項目が100%であった。 上記アンケート結果や、福祉避難所開設訓練、児童生徒の避難訓練時等の実際の動きから、学校全体で防災意識・行動の向上が図られたと考える。 	

評価基準



- A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた
- B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
- C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

学校関係者 評価と意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員を対象に行ったアンケートによる、職員アンケートの同項目も同様に肯定的な評価100% (よい+だいたいよい)を得た。 学校運営協議会では、防災関係に特化した意見はなかったが、地域で生き生きと生活できる教育活動を展開してもらいたい旨の意見が複数あった。地域での自立と社会参加を果たしたり、安心・安全な生活を送ったりする上では、児童生徒の防災意識の向上や、自身の身を守る避難行動を身に付けることが重要である。防災教育等の充実を図っていきたい 	C
(評価) A		



自己評価及び 学校関係者評 価に基づいた 改善策	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所としての機能向上をさらに図る上では、本校職員間の避難所開設に係る共通理解を深めていく必要があることから、職員間のシミュレーション訓練等を実施していきたい。 計画的なシェイクアウト訓練を継続し、様々な状況でも自身で避難行動がとれるようにする。 	A
-----------------------------------	--	---